校務DX化の第一歩であるMicrosoft365のセキュリティ対策を強化

Trend Vision Oneによるゼロトラストの実現へ

福井市
Fukui City

業種：自治体、教育委員会

従業員数：1,800名

地域：福井県、日本

採用製品・ソリューション：
Trend Micro Cloud App Security™ with XDR

TREND MICRO、Trend Micro Cloud App Securityは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
記載内容は2023年12月現在のものです。内容は予告なく変更になる場合がございます。
製品・サービスの導入効果は、ご利用企業・組織の方の声に基づくものであり、お客様のご利用状況により効果は異なります。
Copyright © 2023　Trend Micro Incorporated. All rights reserved.

※1　文部科学省「GIGAスクール構想下での校務DXについて」
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/175/mext_01385.html
※2　XDR (Extended Detection and Response)とは、サイバー攻撃の事後対処として、脅威がユーザ環境に万が一侵入した際に、攻撃の痕跡を検知、可視化することで、インシデントの調査、原因特定、対処を行う機能です。

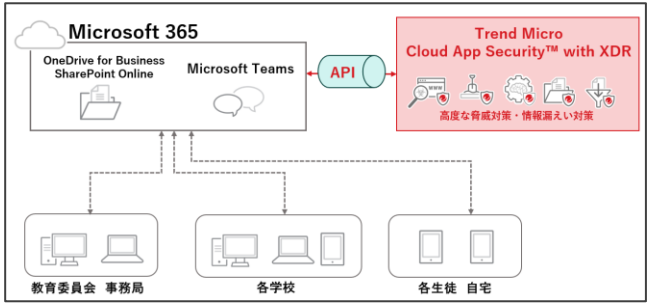
導入の背景

- 令和5年3月の「GIGAスクール構想下の校務DX(※1)」についての新指標提示に伴い、校務DXの一環としてMicrosoft 365が新たに導入された。
- 市内の各学校でMicrosoft 365の活用が進む一方で、教職員・生徒のMicrosoft 365利用状況をすべて教育委員会側で管理することは難しく、セキュリティリスク対策強化が課題に上がった。

選定理由

- すでに活用が進んでいるMicrosoft 365に対して高度な脅威対策、情報漏えい対策による対策強化を実現できる点、将来的に校務DXを推進しているため、他のクラウドアプリケーションも包括的に実現できる点を高く評価している。

導入効果

- 各学校での利用状態が不透明だったSharePoint、OneDrive、Teamsに対するセキュリティリスク対策の強化を実現した。
- CAS with XDRによるアクセス先のセキュリティ確保に加え、アクセス先・アクセス元のデータを連携したXDR機能(※2)による事後対策、動的なアクセス制御によるゼロトラストの実現に向けて、今後統合サイバーセキュリティプラットフォームTrend Vision Oneの活用を進めていく。

〈福井市教育委員会様での活用イメージ〉